

第5回 周南市スマートシティ推進協議会 議事要旨

■日 時：令和5年1月20日（金）15:00～16:30

■場 所：周南市役所本庁舎4階庁議室

■出席者：以下表の通り

| 所属・団体名 | 役職 | 氏名 | 区分 | 出欠 |
|--------------------|---------|--------|--------------------|----|
| 東京大学大学院 工学系研究科 | 教授 | 羽藤 英二 | 学識経験者 | 出席 |
| 周南公立大学 福祉情報学部 | 准教授 | 児玉 満 | | 出席 |
| 徳山工業高等専門学校 情報電子工学科 | 准教授 | 柳澤 秀明 | | 出席 |
| 徳山商工会議所 | | 船井 辰郎 | 関係団体 を代表する者 | 出席 |
| 周南市社会福祉協議会 | 業務課課長補佐 | 山本 多恵 | | 出席 |
| 周南市体育協会 | 事務局主任 | 砂田 優一郎 | | 出席 |
| 周南市コミュニティ推進連絡協議会 | 副会長 | 加藤 洋 | コミュニティ組織 を代表する者 | 出席 |
| 周南市コミュニティ推進連絡協議会 | 監事 | 黒神 充久 | | 出席 |
| 山口県未来技術活用統括監 | | 田中 貴光 | オブザーバー | 出席 |
| 周南市 ICT 推進アドバイザー | | 藤原 孝幸 | | 出席 |

■要 旨

1. 開会

(事務局)

- ・ 本日は、委員全員の出席をいただいているので、周南市スマートシティ推進協議会設置要綱第6条の規定により、本会議が成立していることを報告させていただく。
- ・ 会議の開催にあたり、本市企画部長川口よりご挨拶を申し上げます。

2. 挨拶

(事務局 企画部長 川口)

- ・ 本日は大変お忙しいところご出席いただき感謝する。
- ・ 議題にもあるが、先日1月9日にスマートシティのシンポジウムを開催した。シンポジウムでは、羽藤先生をはじめとする登壇者による基調講演やパネルデ

イスカッションを実施したが、本協議会で議論されている周陽・遠石地区のモデル地区について多くのお褒めのお言葉をいただいた。

- ・ これは単なる技術の導入ではなく、住民起点のスマートシティの推進を目指していることに対して、方向性として正しかったということだと思っている。
- ・ 第5回の協議会においてもこれまでと同様に皆様の忌憚ないご意見をいただきました。

(事務局)

- ・ これからの進行は羽藤会長にお願いする。

3. 議題

(会長)

- ・ 川口部長からもお話があったようにシンポジウムを開催して、周陽・遠石地区でやっている活動については、シンポジウムの方だけではなく、控室の方でも川口部長をはじめとする市長等から話をいただき、地元の住民の意見を汲み取りながらやっているというのが周南のスマートシティの大きな特徴であるというご評価をいただいたことと思う。
- ・ 今回の協働プログラムというところについて、事前の準備の段階で皆さんには色々心配をかけたが、頑張って実施していただいたので、その実施報告を事務局の方からご説明の方をお願いしたい。

(事務局)

<第1回協働プログラムの実施報告>

(会長)

- ・ 地元での取組なので、是非実感としてコミュニティ推進連絡協議会の委員からコメントをいただけたらと思う。地元の受け取り方や告知の仕方等、色々コメントいただけたらと思う。

(委員)

- ・ 実際に現地に行ってみたが、当日スポーツイベントがあったので体育館の前にはかなり人だかりがあった。フレンドパークの方は、土日は非常に家族連れが多いので有効だったと思う。
- ・ スポーツ公園なので土日のスポーツイベントがある際にはお客さんが多い。先週は駐車場が駐車しきれないくらい人が来ていた。翻って平日は閑散としているので、日によって曜日によって、大きな変化が出てくると言うのは間違いがないと思う。

- ・ 地元の人が今回これに参加したかというところも難しいところもある。やはり周知がギリギリだったと言うこともあり、ほとんどの人に知られていなかった。散歩する人は多いので、偶然キッチンカーやイベントをしていたということを知ったというくらいであり、周知に今後の大きな課題が出てくると思う。どのように周知させるかに限ると思う。
- ・ 散歩する人は限られていて、毎日散歩する人や土日に散歩する人は、必ずといって良いほど自分が設定したコースを回るが、市内や地区の色々なところから来てもらうためには、しっかり地元の人に認識してもらうことが大切である。そうするとキッチンカーの売上も伸びていくと思う。継続的にやっていかないと意味がないのではないかと思う。

(委員)

- ・ このイベントを地元の間はほとんど知らなかったと思う。レスリングに関するスポーツイベントが開催されており、伊調選手も来られていたので、土日はそういったイベントに来た方が参加されていたのではないかと思う。
- ・ キッチンカーの方からもアンケートで平日の出店は難しいと言うことが書いてあったと思うが、ビジネスということになると非常に厳しいのではないか。
- ・ 地元への告知に関しては、これが定例化され、フレンドパークに遊びに来られている方がもっと盛り上がっていけば、地元の方が立ち寄った際にお店が出ていることが周知されて賑わいにつながっていくのではないかと思うが、これが周陽地区・遠石地区の住民の要望が反映されているかという点については疑問を感じているところである。

(会長)

- ・ ニーズを汲み上げてプログラムに対応づけていくということが重要ではないかという事は、協議会メンバー全員に共有してもらえるコメントかと思う。
- ・ 直前の広報になってしまったことについては私としても申し訳ないと思っているところなので、私の方からもお詫びを申し上げたい。
- ・ 他に参加された方でこれは言っておきたいなどあれば、お願いしたい。

(委員)

- ・ 前回の会議の後にキッチンカーの出店者がいないので声かけを依頼されたため、キッチンカー事業者をいくつか私からご案内した。またイベントとしてどのような運営をされているか気になったので、日曜日と月曜日に伺った。
- ・ 客足については先ほど委員二人が指摘したような状況であるが、売上を見ると、これだとなかなか声をかけづらい。うちとしても商工業者の集まりのところなので、こういったイベントを主催する上で、夏祭りやツリー祭りだと出店者は何十

万と持って帰る。その中で何万円、何千円ということだと正直話にならないというかほとんどボランティアの世界ではないかというレベルだと思う。

- ・今回はこうだったが、次回以降このような形を続けるのであれば、スポーツイベントがある日をぶつけてそこに広報・周知をするか、単純に年に何回やると始めから決め打ちして定着させるかのどちらかではないかと思う。
- ・今回取れたデータに関しても、スマホでアプリをインストールするというのは手間だと思う。200円の割引がもらえるということでアプリを入れてたこ焼きを買ってみたが、なかなかハードルが高いと思った。そこはもう少しアナログで良いのではないか。
- ・AIカメラに関しては引き続きどんどんデータを収集していくのは今後のために良いのではと思うので、これっきりにすると今回やったことの意味がなくなってしまうので、何かしらに活かしてもらいたいと思った。

(会長)

- ・スポーツイベントの関連付けやアナログも使って色々な人に伝わるようにというところはなるほどと思うので、今回の実験の修正の方向性として今後取り入れていく必要があるのではないかと感じた。

(委員)

- ・この協働プログラム期間中に総合スポーツセンターの事務所に勤務をしていて、キッチンカーが出ているところを拝見して実際に利用したが、普段スポーツセンターにない賑わいを見せているような感覚もあってとても新鮮だった。
- ・この協働プログラム以降、12月に入ってから日本ハンドボール選手権や女子のプロバスケットのWリーグ等があり、大会期間中もキッチンカーをいくつか出店していただいて、ある程度賑わっていたように思う。
- ・大会については、コロナが無視できない状況で、観覧者の制限をかけているところもあるので、それが緩和されてくるとキッチンカーを利用される方、試合・大会を見る方も増えてきて、賑わいの創出につながるのではないかと思う。
- ・体育協会は年間の大会調整業務をしており、年間の大会は全て計画として出ているので、そういうことはキッチンカーの事業者にもお伝えはできる。
- ・1月に入ってからキッチンカーの事業者側から出店したいという問い合わせも受けているので、売上がとても少ないという話があったが、ウィンウィンな関係を築けているのではないかと思った。売上についても確認してきたが、これよりも少し多いくらいだったかと思う。

(会長)

- ・ カレンダーや総合的なポータルなど、情報に関するニーズは地元の方からもあった。また、大会情報などは、商工会をはじめとする事業者の方にとっても有効な情報だと思う。
- ・ 普段にはないような風景という肯定的に捉えていただけるところがあったというのは、この実験の一つの結果なのではないかと思う。

(委員)

- ・ 当日は参加できなかったが、フレンドパークのところは小さい子ども連れの方が週末多く行かれていて、実際に子どもが小さい頃には私もよく行っていた。その周辺でキッチンカーの出店があれば、滞在時間が長くなり子どもがすぐに遊びに飽きてしまうというのを食べ物で気を紛らわせるということもできるかと思う。
- ・ スポーツイベントということだったが、最近によくマルシェが流行っていて若い親世代の方がこぞっていかれているような印象があるので、違う場所で行っているマルシェを試してみたりすると、また人の流れができるのではないかと思う。
- ・ 色々なイベントがあつて難しいかもしれないが、みんな割とインスタグラムなどを見て、今日はここでパンマルシェが開かれているというのを確認して都合をつけて行かれる若い女性が多いと思うので、そのようなイベントなども場所を変えてやってみるということも考えられるのではないか。

(会長)

- ・ できるだけ飽きさせないように、親はいつも子育てする時に苦勞するので非常に共有できる部分もある。プログラムもマルシェなどと連携して、他のプログラムも地元の方々と連携して考えることが重要だと気付かされた。
- ・ それでは事務局から、様々な意見が出たが、今のことについてまとめて何かコメントがあればお返しいただけたらと思うがいかがか。

(事務局)

- ・ 今回初めてこのような実験を実施した。AIカメラでどのようなデータが取れるのかというのは正直すごく興味があった。また、キッチンカーで、先ほどお言葉をいただいたように、普段の賑わいとは違ったものもあったというありがたい言葉をいただいた。今回だけで終わりではなく、今回収集したデータをもとに次に進めていけたらと思う。
- ・ 先ほどの委員の方々の意見に補足をさせていただくと、先ほど話題に上がったキッチンカー事業者については、土曜日に出店いただいて日曜日の出店の予定はなかったが、思ったより土曜日の売上が良くて日曜日も来たいという形で追加的に来られたという事業者もいらっしゃる。

- ・ 夏祭りなどの大きいイベントだと数十万円というキッチンカーの売上を期待されるそうだが、毎回毎回大当たりではないそうで、土日のこういったイベントで十万弱という売上でもウェルカムと仰ってくれた事業者も多かった。
- ・ 先ほど、子どもとの滞在時間が長くなるという話があったが、スタンプラリーで三十代が多かった最大の要因は、子どもと一緒に親が回った影響が大きい。子どもと一緒に回る機会になりましたという声もいただいた。
- ・ キッチンカーやスタンプラリー自体が集客要素になるというよりは、スポーツイベントに対しての追加的なものとしての位置付けであるといったお声をいただいた。
- ・ 地元への周知というところだが、そちらについては今後改善していくようにしっかり取り組んでいきたいと思う。

(会長)

- ・ キッチンカーの購買者のデータやどういう属性の人がどのようなものを買っているかというデータが無かったように思うが、そういったデータは収集されているのか。有名なQRコード決済などで支払いをすると運営側に購買データが残らなかったりすると思うが、今回どうしたか手短にご回答いただけたらと思う。

(事務局)

- ・ キッチンカーで割引券を使った人に関しては、インストールしていただいたアプリで分かる。現金でのお支払いの場合は分からないが、各キッチンカー事業者にインタビューは行っているので、ある程度購買者の属性は分かる。

(会長)

- ・ AIカメラではそういったデータが全て分かるというわけではないということか。

(事務局)

- ・ キッチンカーとその周りに2つAIカメラを置いた場所に関しては、分けて分析したが、先ほどの通り半数くらいは属性が不明となってしまった関係で、有意な差が出るというところまで行けるかは怪しいと思っている。

(会長)

- ・ スマートシティの取組ということで、データがどれくらい使えるようなものが実験できているかというところで質問させていただいた。
- ・ 続いて周南市スマートシティ推進シンポジウム報告について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

<第 35 回国づくりシンポジウム 周南市スマートシティ推進シンポジウムの報告>

(会長)

- ・ シンポジウムについては、周南公立大学や徳山工業高等専門学校もポスター展示をしていただいたと思うが、もし追加でコメントがあればお願いしたいと思う。

(委員)

- ・ シンポジウムには参加できなかったが、展示用のポスターを作成させていただいた。大学の方でスマートシティについて考えるというゼミをしていたのでそのポスターと、大学でDXを研究するセンターができたので、そこの紹介ポスター、またDXセンターが企画しているシンポジウムのポスターを貼っていただいた。
- ・ 大々的にできたのですごくありがたいと思った。

(委員)

- ・ 私は参加できなかったが、同僚の教員が2名参加し、とても良かったという話を伺った。
- ・ シンポジウムの目的が市民一人ひとりの理解の深化や意識の醸成を図ることだったため、学校で取り組んでいる公開授業など、市民に参加してもらって理解してもらうものや、広く普及しているようなものを紹介できたら良いのではないかとこのころで、学校で取り組んでいる公開講座や、教員が地域の方向けにやっている iPad 等を高齢者に紹介するという取組事例等についてポスターで紹介させてもらった。

(会長)

- ・ 周南公立大学と徳山工業高等専門学校が地元でこのような活動をしているということは市民にも知っていただきたいこと。
- ・ 「スマートシティが身近なものであると感じられましたか」という質問に対して「感じられた」が59%ということで、普通のイベントでは考えられない数字だと思う。
- ・ 2つの教育機関があることが周南のすごく強みだと思うが、そういったことも感じられたのではないかと思う。
- ・ 他都市との協働でやってほしいという意見もあった。前橋市のスマートシティの取組が非常に進んでいる感じで、他都市との連携可能性について登壇者の方も仰っていたかと思うが、どのように考えているかというところについて、もし可能であれば伺いたい。

(事務局)

- ・ 前橋市も含めた他都市との連携というところだが、もちろん住民起点ということで課題がベースになるが、共通する課題や似通った課題は当然あるので、連携していく可能性はありうると思う。
- ・ デジタルの良いところは横展開しやすいところで、良い取組をしていたら一緒にやってみようということや、そのツールを使ってみようということが簡単にできるものもある。前橋市は良い取組をたくさんされており、もちろん他の都市でも良い取組はあるので、今後他都市と連携して一緒に取り組むということは十分に考えられると思う。

(会長)

- ・ まずは地元の課題を吸い上げてコミュニケーションとってということだと認識した。的確だと思う。
- ・ 次に第2回、第3回の協働プログラムの企画概要について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

<第2回・第3回協働プログラムの企画概要について説明>

(会長)

- ・ プログラムの企画の説明で大まかな流れについてはお分かりいただけたかと思うが、ダイアログやファシリテーター、モデレーター等は分かりにくいと思う。特にモデレーターとファシリテーターの違いなどは、進行役の介入の強度の違いということしか分からないので、地元の方にご説明する際には分かりやすい言葉を使い、参加したいと思うようなチラシなど作っていただけたらと思う。
- ・ 委員がご登壇されるということなので、こういうことをやったら良いのではないかということなど、進め方についてご意見伺えたらと思う。

(委員)

- ・ 第2回協働プログラムにおいて福祉の課題を話題提供してほしいという依頼を受けており、今どのようなものが良いかを検討しているところである。
- ・ 資料39ページに昨年度の事業であげられた課題や要望があがっているが、その辺りを私たちがどのように課題と捉えているかというところを参加者にお伝えする。お年寄りの移動のサポート等生活上の課題は色々あり、ゴミ出し一つとってもゴミをまとめて家から持っていくまでが大変であるなど、様々なニーズがあると思う。

- ・ 健康を実感できる仕組みということで、介護予防に関しても市の福祉の方と一緒に取り組んでいるが、健康で長生きしていただいて、できるだけ周陽・遠石地区で住みたいという方の要望を叶えるためにはどのような取組があるかというところを話題提供させていただく。
- ・ その辺りでスマートシティというか、ITでできることがあるのかというところは考えられても良いのではないかと思う。
- ・ 先ほど委員からも話があったが、地域で徳山工業高等専門学校の方が iPad 等の教室をしていただいております、デジタルに関心がある高齢者の方もたくさんおられるので、その辺のところも含めて色々な持って行き方が考えられるかと思う。
- ・ また、周陽・遠石地区も子ども食堂や地域食堂等の取組をされているので、多世代の方が集まるような取組を考え、手伝っていただける地域の方を増やしたり、来られる方を増やしたりするなど、人と人が繋がるようなことも考えられるのではないかと思っている。

(会長)

- ・ 昨年度のワークショップでも、健康ということで料理教室や高齢者の方の散歩の話、スポーツの話もあったが、高齢者の方の体力づくりという視点は昨年度からの話に通ずるところがあると思うので、ぜひその辺り汲み取っていただいて第2回、第3回とリードしていただけたら、地元の人にも心強いのではないかと思うので、よろしく願いしたい。

(委員)

- ・ 第2回の協働プログラムの企画概要を拝見して、地域の方の意見を取り入れてくださっているということで企画概要に関してはありがたいなと思うところはある。
- ・ 日にちが2月12日ということで開催日が近づいていることもあり、地域の人に参加してもらおうという想定になっていると思うので、早めに告知しておかなければいけないところかと思う。
- ・ 2月11日午前中には、遠石地区は建国記念祭ということで、遠石八幡宮の方で建国記念の行事を行い、ウォークラリーという形で遠石八幡宮を歩いて歴史の説明を受けるというイベントがあるので、その辺がどうかと思っている。いずれにしても早めの告知をしていただきたい。
- ・ 第3回の協働プログラムの日程についても3月12日を予定されていると思うが、3月11日が市民センターの文化祭の予定になっているので、その片付けで3月12日に使えるかどうかは事務局の方から確認していただけたらと思う。
- ・ 第2回、第3回で地域の人にフィードバックしてもらえるとと思うので、よろしく願いしたい。

(会長)

- ・ 遠石地区の歴史ウォークラリーは非常に魅力的だと思う。ぜひ事務局の方でもそういうことを議論の中で取り入れて、ここらしいスマートシティのニーズを汲み取ってもらえたらと思う。

(委員)

- ・ 2月12日は周陽地区でも建国記念の日の行事があるので、そちらに参加される方がお子さん連れなど多いのではないかと思う。
- ・ 第3回協働プログラムの企画案について、ダイアログ形式で何が本当のニーズなのかと書いてあるが、地元住民と逆方向に行ってもいけないと思う。本当のニーズや地域の課題をつかむということを今まで何回かやってきたが、ランダムにお年寄りを含めてニーズを抽出していくというのが一番現実的なのではないかと思う。
- ・ 例えば、各家庭にアンケートを送ってそれを回収してみるといったことが一番生の声を聞けるのではないか。周陽地区では、二か月に一回、「ふれあい」というコミュニティ紙を全戸配布している。その時に一緒にアンケートを入れてみるといったことをすると、ミーティングに参加できないような人たちの本当の声を聞くことができるのではないかと思う。もし周陽でやってみるということであれば、私の方でやらしてもらおうのでご検討お願いしたいと思う。

(会長)

- ・ 確かに瓦版のような媒体と連動させたアンケートとワークショップ的な取組によるニーズの吸い上げを組み合わせることで非常に効果が発揮できそうだという気がした。しかし直前に準備をしてしまうと拙速なことになりかねないので、次年度以降でも構わないが、みんなの意見を聞いているというところは、どこかで構えとして作っていただくと良いと思うので、ぜひ参考にしてもらえれば。
- ・ オブザーバーのお二人からも全体通してでも構わないので、こういうことをスマートシティで気を付けたらというところを委員の方と共有できたらと思うがいか

(オブザーバー)

- ・ 全体を通じて、第1回の協働のプロジェクトについて、実際に実証して取り組んで、その内容を試してみたというところについては良いと思った。
- ・ 会長も仰っていたが、スマートシティというところで取り組んでいるので、データを取るところと活用の仕方については、引き続き検討できれば良いと思う。

色々改善しながらやっていく取組かと思うので引き続き継続していければよいのではと思う。

- ・ 第2回、第3回については、最近話題になっているリビングラボの話であるし、実際スマートシティの取組については、住民の方を中心に課題を把握して取り組むことが重要であるので、実際にデザインシンキングの考え方をを用いて市民の方の課題や意見を収集して、市民の方々の実際のフィールドの中で実証していくところに来年度以降繋げていければ良い取組になるのではないかと思います。
- ・ 引き続きそういった取組を色々な市民の方に参画していただきながら進めていくという形が良いのではないかと思います。

(オブザーバー)

- ・ 第2回と第3回の協働プログラムについて、実際に参加される方は開始日の手前で何らかの周知・告知を受けると思うが、その時にそれだったらぜひ参加してみたいと思うような、そういう話し合いをしたいのだなということがうまく伝わるような問いかけ方の設定に工夫を凝らすことができれば、より良い意見がいただけるイベントになるのではないかと思います。先ほどの委員のお話しをお聞きしたら、それだったらぜひ参加してみたいという気分になるということを実感したので特にそう思った。前回のイベントでは周知が徹底できずに参加が活性化しなかったというところへの答えにもなってくるのではないかと思いますので、その辺りを意識していただければと思う。
- ・ 第1回のイベントについては、月曜日に人が少ない中で参加させていただき、カメラなど見させていただいたが、思った以上に周南緑地には人が来られている、広くて見通しもいいので一見すると人がいないように見えるが、そんなことはないと感じた。
- ・ また土曜、日曜のイベントについては、年間のイベントで見た時に一番賑わいがあったスポーツイベントなのか、そうでないのか、スポーツイベントでも選手の方だけが来られるイベントなのか、ご家族や観客の方がたくさん来られるイベントなのかによって賑わい加減が違うので、そういったものをデータとして取って事業者の方に返していくようなことをすると、さらに周南緑地の価値を高めることにつながるのではないかと現地を訪れた時に思ったので、その辺り意識していただけるとありがたい。

(会長)

- ・ リピーターという話もあり、非常に重要な視点だと思う。一人ひとり参加してくださる方々への敬意や、引き続きということも含めて大切に接していくということを心がけるということは、非常に重要な指摘であると感じた。

(委員)

- ・ 参考までに情報として、お知らせをしておきたいと思う。39ページにコミュニティにセーフティタウン化とあり、地元企業の地域活動への協力や自主防災の活性化など地域コミュニティの強化が課題として取り上げられていると思うが、周陽地区では今週日曜日に防災訓練をすることになっている。場所は周陽小学校で行う予定である。
- ・ 地区やコミュニティがどういう活動をしているのかということをお知りになりたい方は、ご参考までに来ていただけたらと思う。9時30分から周陽小学校で周陽地区自主防災協議会の主催による周陽地区防災訓練を行うのでよろしく願いしたい。

(会長)

- ・ 防災という視点もスマートシティとしても重要だと思うし、緑地も非常に重要なスペースになると思うので、関心を高める上で重要かもしれないので、今回のダイアログの中でも色々な意見の中で出てきたら、丁寧に聞き取っていただきたい。

(事務局)

- ・ 先ほどの日程に関する補足だが、2月11日のイベントについては講師及び遠石市民センターの方からお聞きしており、その点も踏まえて日程調整をしていた次第である。市民参加の観点からは、日曜日に参加してもらう方が良いのではないかとといった点について、講師や市民センターと今話しているところである。確定できておらず申し訳ない。
- ・ 3月12日に関しても文化祭の次の日ということだが、会場を使用できるということは遠石市民センターから聞いている。まさにスマートシティの問題になっている部分だが、地域の情報が一元になっているわけではなく、色々なところに電話をして聞いているところで、まさに我々が課題に直面しているという状況であるので、その辺りで漏れているところがあれば、ご指導ご鞭撻いただければと思う。
- ・ また広報に関しても第1回協働プログラムから指摘いただいて、引き続き課題になっていると認識している。ご迷惑をおかけして申し訳ないが、我々も頑張っていきたいと思っているのでよろしく願いしたい。

(会長)

- ・ 周南市のスマートシティだが、外部の有識者の方からも、独自の取組であるというところが印象に残ったと評価されていたように思う。それはひとえに周陽と遠石の地区の方々とのまさにダイアログ、対話の中できっちりとしたことを作って

いこうとしている姿勢にあると思うので、そののところを一丁目一番地として逸らさないようにしっかりと丁寧に積み上げていくというところで、スマートシティという取組の信頼を獲得していくようにぜひ進めていただきたい。

- また、教育機関や地元の商工会議所、スポーツ・福祉等の方々のご協力があって成り立つことだと思うので、オール周南でモデルを作っていくというところを頑張っていければと思う。年度末に向けてバタバタするということは事実だが、なんとか丁寧にお願いしていきながら今年度も最終に向けて頑張っていければと思うので、ご協力のほどお願いしたい。
- それでは事務局の方に連絡事項等お願いしたい。

(事務局)

- 第2回の協働プログラムは2月11・12日、第3回の協働プログラムは3月12日に実施予定である。
- また第6回の周南市スマートシティ推進協議会は3月22日(水)16時から開催予定となっている。
- ご多用のところ恐れ入りますが、出席のほどよろしくお願いしたい。

(会長)

- 以上で本日の議事を終了する。円滑な議事に協力いただき感謝する。それでは事務局にお戻りする。

4. 閉会

- 以上をもちまして、第5回周南市スマートシティ推進協議会を閉会する。

以上